



府中地区保護司会だより

第57号

発行 府中地区保護司会 会長 朝倉俊夫

大國魂神社くらやみ祭り 大太鼓



着任のご挨拶

東京保護観察所立川支部長

吉原直深

この春の異動により、横浜保護観察所から転任してまいりました。立川支部の勤務は初めてになりますが、調布市出身の私にとって多摩地域は大変親しみを感じる土地ですので、この度、府中市を愛する保護司の皆さまと一緒に仕事ができますことを、大変嬉しく思っております。

私事ですが、昭和の時代に父方祖父が、北多摩南地区で保護司をしておりました。当時は、府中・調布・狛江が一つの保護区でしたので、祖父が府中の保護司の方とよく連絡を取り合い、親しく交流していたことを記憶しております。当時祖父が「多摩連の集まりがある」などと度々口にしていたことも覚えており、子供心にも保護司の皆さまの結束力や保護司活動を愛する気持ちを肌で感じていたように思います。

さて、昨今、保護観察所は保護司の広報に力を入れておりますが令和7年6月15日号の「広報ふちゅう」において保護司の特集記事を組んでいただいたことは大変喜ばしいことであり、私の中で今一番ホットな話題になっております。保護司の皆さまを始め、府中市役所等の皆さまの温かく力強い後押しがあった上での実現であったことと思います。誠にありがとうございます。

保護観察所としても、保護司の皆さまの尊い活動をより多くの方々にご理解いただけるよう、更生保護に携わる皆さまの広報等に一層力を入れていくとともに、保護司の皆さまが安心して保護司活動に取り組むことができるよう、活動環境の整備に努めてまいります。

ご負担をおかけすることも多いと思いますが、引き続きお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



東京保護観察所立川支部の藤田と申します。本年度より、府中地区を担当させていただいております。府中地区保護司会の先生方には、平素より更生保護事業へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本年度は地区業務のほか、BBS会と社会貢献活動を担当しております。私自身、学生時代にBBS会に在籍していたことがありますので、少し懐かしい気持ちにもなりながら、BBS活動に関わらせていただいております。

社会貢献活動につきましては、特別養護老人ホームや農家の方々のご協力をいただき、本年度も様々な活

動内容を予定しているのですが、以前に比べて特別遵守事項に設定される例が少なくなっている現状です。特別遵守事項に設定されていない対象者においても、任意での参加も可能です。先生方からも、社会貢献活動に向いていそうなケースがありましたら、ぜひお声がけいただけますと幸いです。

お忙しいなか時間を割いていただき、対象者の言葉に耳を傾け、あたたく寄り添いながらも、時に指導や助言を行うというのは、並大抵のことではなく、感謝に尽きません。経過報告書を拝読しながら、そのやり取りを想像し、温かい気持ちになることも多いのですが、一方で接触が確保できないことや、生活の様子から再犯や再非行が心配されるケースもあるかと思われれます。そのような場合には、ぜひお気軽にご連絡いただけますと有難く存じます。

府中地区の保護司の皆さまや地域の関係者の方々とともに、犯罪や非行のない、安心安全なまちづくりのために、当職としまして、精進して参りますので、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。結びに、皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。



令和7年3月7日開催の臨時総会において、引き続き会長職に選任をいただきました。今回は改選期のため役員・部の配属についても新体制となり、4月より心新たに会の運営に当たっております。会員皆様のご支援ご協力、そして関係諸機関各位のご指導を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年オランダ・ハーグで開催された世界保護司会議において、4月17日を「国際更生保護ボランティアの日」とする宣言が採択されました。本年の同日に都庁の都民広場において「式典・パレード」が開催され、更生保護ボランティアの活動に対し、認知度の向上に向け取り組むことになり、

府中地区保護司会においても東京の更生保護関係者とともに参加をいたしました。

また、府中市のお力添えにより、6月15日号の「広報ふちゅう」において、『社会を明るくする運動』や更生保護を担う保護司の活動について掲載をしていただきました。時代の変化に対応しながら、地域に貢献する更生保護を次世代に継承するため、広く市民の皆様のご理解をいただければと願っております。

さて、当会においては今年度、第7ブロック保護司組織運営連絡協議会の当番地区となり、実り多い協議会になるよう行政とも連携を図り、準備を進めているところです。また、令和8年には創立30周年を迎えるにあたり実行委員会を立ち上げ、府中地区更生保護女性会とともに、お祝いしたいと思います。

年間を通し、犯罪・非行防止活動を展開し、再犯・再非行のない安心安全な地域社会の構築を目指し、努力していく所存です。そして、行動を共にする仲間（保護司）の確保にも会を挙げて取り組んでいかなければなりません。



令和7年定期総会

総務部 真鍋 美一

令和7年定期総会が、5月16日午後4時よりルミエール府中コンベンションホール飛鳥において盛大に開催されました。

令和6年度事業報告、決算報告及び会計監査報告、7年度事業計画、7年度予算の4つの議案が全員一致で承認されました。また、3月9日に行われた臨時総会において承認された会則・顕彰規定・サポートセンター運営規定の一部改定や特例再任についての報告がされました。最後に本部役員・理事及び市担当職員の紹介があり閉会となりました。

令和七・八年度

組織紹介

敬称略 同役職内は委嘱年月日の順

〈理事・役員〉

会長 朝倉 俊夫
副会長 市川 耕作（地域活動部担当）
副会長 原田 勝彦（広報部担当）
副会長 田中 陽子（研修部担当）
顧問理事 西谷 照代（総務部担当）
会計 秋山 勤
会計 若松 正子
理事 市川 一徳
理事 田中 節子
理事 堺 美佐子

〈各部〉

総務部

理事 小澤 量
理事 奈良崎芳恵
理事 伊藤 仁
理事 那須 史子
理事 森岡 潤家
会計監事 小川 晴美
会計監事 古川 耕央
相談役 高野 佳子
顧問 高野 律雄（府中市長）

研修部

部長 市川 一徳
副部長 堺 美佐子
書記 北村のぞみ
会計 真鍋 美一
部員 西腰美恵子・大沢美保子
山本 裕章・加藤 茂
高野 律雄・佐藤 新悟
小澤 秀敏

地域活動部

部長 那須 史子
副部長 森岡 潤家
書記 古川 耕央
会計 三浦智恵美
部員 北島 章雄・吉野 博文
杉浦 涉・小川 晴美
崎山 弘・齋藤 巧
小場 淳吾・青木 和男
四井 秀成

広報部

部長 奈良崎芳恵
副部長 田中 節子
書記 住崎 岩衛
会計 隆 ミワ子
部員 市毛 彰・藤井 幸夫
前田久美子・石塚百合子
終 昌一・市橋 正造
内藤 祐治

〈学校との連携委員会〉

委員長 那須 史子（二中）
副委員長 伊藤 仁（浅間中）
副委員長 市川 勉（八中）
書記 三浦智恵美（五中）
会計 新島 香（三中）
委員 朝倉 俊夫・市川 耕作
原田 勝彦・田中 陽子
西谷 照代
杉浦 涉（小学校担当）
堺 美佐子（一中）
住崎 岩衛（四中）
森岡 潤家（六中）
崎山 弘（七中）
古川 耕央（九中）
奈良崎芳恵（十中）

〈サポートセンター運営委員会〉

センター長 西谷 照代
副センター長 加藤 茂

総務（統括）

総務 小澤 秀敏
総務 市川 耕作
総務 奈良崎芳恵
総務 那須 史子
総務 若松 正子
会計 秋山 勤
委員 朝倉 俊夫・原田 勝彦
田中 陽子・市川 一徳
伊藤 仁

〈東京都薬物乱用防止指導員〉

秋山 勤

〈社会貢献活動担当保護司〉

原田 勝彦・古川 耕央

〈府中市社会福祉協議会〉

理事 朝倉 俊夫

〈府中市要保護児童対策地域協議会〉

委員 朝倉 俊夫

〈更生保護施設柴翠苑〉

評議員 高野 佳子

評議員 小澤 秀敏

〈地域福祉活動計画策定委員会〉

委員 森岡 潤家

〈権利擁護センターふちゅう成年後見制度利用促進協議会〉

委員 森岡 潤家

〈ICT化推進担当保護司〉

市川 耕作・森岡 潤家

〈府中市福祉のまちづくり推進審議会〉

委員 田中 陽子

〈事務局〉

府中市福祉保健部
地域福祉推進課社会福祉係
桑名 聖人

5回 くする運動



「ル・シーニュ」1階に展示

委員長高野律雄府中市長は「今年6月に刑法が改正され、受刑者の改善更生と社会復帰が図られます。刑を終えた人を地域で受け入れ、サポートすることが大切であり、社会を明るくする運動を通して理解を広めてください。」と挨拶されました。

東京保護観察所立川支部長吉原直深様、府中警察署生活安全課長内海哲也様のご挨拶と続き、協賛団体の皆様を

第75回社会を明るくする運動街頭広報活動が、7月1日（火）、けやき並木歩道周辺で行われました。その日は曇り、最高気温35.3℃の中、午後4時半からフォーリス光と風の広場でセレモニーが行われ、府中市推進委員会副委員長・朝倉俊夫府中地区保護司会会長の挨拶から始まりました。



ご紹介しました。地域活動部那須史子部長のキャンペーン用品の配布方法の説明のあと、今年新調した横断幕を前に全員で集合写真を撮りました。その後、各自、社明エコテイツュとリーフレットが入った袋を持ち、張り切って街頭へ飛び出しました。

今年は、府中市教育委員会が6月から9月までの4か月間を熱中症予防要配慮期間として設定したことにより、中学生による街頭広報活動は実施されませんでした。昨年まで中学生が配ると次々と受取ってもらえたりリーフレットでしたが、今年、私が配ると5人に1人くらいしか受取ってもらえず、街頭広報活動の効果が半減したのではと心配になりました。配布中は、天気も持ち直し暑い日差しの中、概ね30分で終了しました。

配布終了後、閉会セレモニーが行われ、奥田美津子更生保護女性会会長の挨拶で無事街頭広報活動を終了しました。

参加した保護司41名、更生保護女性会15名、協賛団体等を含めると総勢85名で、保護司の参加人数が近年では最多と嬉しい活動となりました。

今年、府中市教育委員会が6月から9月までの4か月間を熱中症予防要配慮期間として設定したことにより、中学生による街頭広報活動は実施されませんでした。昨年まで中学生が配ると次々と受取ってもらえたりリーフレットでしたが、今年、私が配ると5人に1人くらいしか受取ってもらえず、街頭広報活動の効果が半減したのではと心配になりました。配布中は、天気も持ち直し暑い日差しの中、概ね30分で終了しました。

配布終了後、閉会セレモニーが行われ、奥田美津子更生保護女性会会長の挨拶で無事街頭広報活動を終了しました。

参加した保護司41名、更生保護女性会15名、協賛団体等を含めると総勢85名で、保護司の参加人数が近年では最多と嬉しい活動となりました。



令和7年7月11日、府中駅前商業施設「ル・シーニユ」5階バルトホールに於いて、推進大会が開催されました。



第7 社会を明るく



お笑いコンビ「いち・もく・さん」

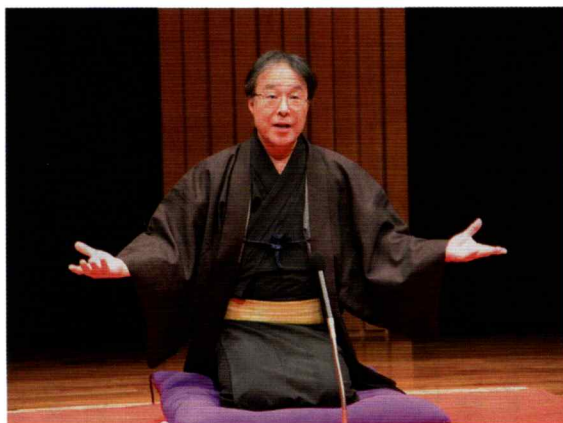
「犯罪や非行を防止し、立ち直りについて理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築く」という本運動の趣旨に沿って、保護司だけでなく、協賛団体や一般参加の皆さまにとっても有意義な内容となるよう那須史子部長や杉浦渉前部長を中心に、新旧地域活動部一同準備して参りました。

当日は、東京都消費者生活総合センターの居前寄席から、お笑いコンビ「いち・もく・さん」（くぼた隆政さん、江口輝さん）と回路亭しん劇

さんにお越し頂き、特殊詐欺や悪徳商法等、どうしても「暗く」なってしまう話題について、漫才や落語で面白おかしく紹介してもらい、笑い声で会場も「明るく」なりました。

漫才では、来場者に対して、話の流れや場の雰囲気から巧みに質問に答えさせ、誰もがつい反応してしまい、騙されてしまう可能性があることを注意喚起して頂き、最近の犯行には「国際電話」が使われることも触れられていました。

落語では、一見、有益に思え



落語家「回路亭しん劇」

る話でも、突然訪問してきた面識のない者の言うことは安易に信じてはいけないという「つるの恩返し」をアレンジした話に納得させられました。

最後に、警察官としての立場からのご案内になりますが、令和6年中の少年の特殊詐欺検挙人員は、114人と高水準で推移しており、少年の特殊詐欺の再犯者は75.4%と前年に比べて16.4ポイント上昇しています。

皆さまが被害に遭わないことが犯罪や非行を防止することに繋がりますので、可能な方は「国際電話の不取扱い」をご検討頂き、青少年が犯罪に巻き込まれぬよう、また再非行に走らぬよう、「断わる勇氣」と「大人への相談」を合い言葉としてご教示頂けたらと思います。



国際電話利用契約の
利用休止申請

日帰り研修会 川越少年刑務所

研修部 崎山 弘

令和7年6月3日火曜日、朝倉会長始め24名は午前10時にバスに乗って川越少年刑務所に向かいしました。交通事情で多少遅れて川越市内に入り、昼食もそこに蔵造りの街並み散策を楽しんだ方々もおられました。川越少年刑務所に到着後、解説ならびに案内をしていただいた矯正副長の調査官である田中茂樹様は、府中六小、五中、府中高校の出身と自己紹介され、しばらく地元の話題で盛り上がりました。川越少年刑務所は、26歳未満で刑期10年未満の男子受刑者を対象として、定員1,491名に対して当日は830人が入所しており、その内訳は財産犯39%、性犯23%、凶悪犯17%、薬物事犯9%で、例えば性犯罪受刑者に対する認知行動療法の専門的プログラムのように犯罪傾向等の特性に相応しい矯正処遇を実施しています。また総合職業訓練施設として全国刑務所から応募、選考を経て、資格取得を目指して理容科、自動車

整備科、溶接科、CAD（コンピュータによる製図）技術科で職業訓練を実施しており、これらの役務に受刑者が従事している様子を見学しました。昭和40年代に建てられた工場、居室などの老朽化は否めませんが、清潔で広々とした空間で得た学びを活かし、受刑者が再犯に至らないことを願いながら帰路につきました。



サポートセンター開設から十年

更生保護サポートセンターふちゅう

センター長 西谷 照代

平成27年4月に「サポートセンターふちゅう」として、本宿町で発足いたしました。令和6年3月末に府中市及び社会福祉協議会のご協力の下、ふれあい会館1階の一部屋に移転し、「更生保護サポートセンターふちゅう」に改名。心機一転再スタートいたしました。専有部分が狭くもなく特に不都合なく使用できております。少人数（10名程度）での会議も可能です。更生保護女性会や桐友会の役員会等にも活用いただいております。

令和7年度から、より多くの会員の方に企画調整保護司として、サポートセンターの活動にご協力いただきたくお願いしましたところ、43名（新企画調整保護司17名含む）の皆様がご快諾くださいました。サポートセンター駐在の主な業務は、届いた郵便物・電話・メールへの対応、諸会議資料作成や保管等があります。又、駐在者同士の情報交換に

※ 駐在は左記の通りです（原則）

企画調整保護司2名

週5日（月～金）

13時～16時



「国際更生保護ボランティアの日」に参加して

副会長 田中陽子

令和6年4月17日、オランダ・ハーグで開催された第2回世界保護司会において、その開催日である4月17日を「国際更生保護ボランティアの日」とする宣言が採択され、保護司をはじめとする地域ボランティアの取組に対する国際的な認知度の向上に関係各国が協力して取り組むこととなりました。

今年4月17日、罪を犯した人の立ち直りを支える保護司らの輪を広げようと東京都庁広場で、小池東京都知事及び吉住新宿区長を来賓にお招きし記念式典が挙行されました。



初の更生保護の日の記念日を盛り上げようと東京の保護司・更生保護女性会・BBS会のメンバー等500人が集結しシンボルカラーの黄色いスカarfを身に着け式典に参加、東京都保護司会連合会の松本会長が「この日が更生保護への社会の



理解がさらに深まることを期待します」と挨拶されました。その後青空の下、警視庁音楽隊を先頭に東京都道新宿副都心4号線（中央通り）をパレードしました。4月とは思えないほどの暑い天気の中でしたが、府中地区保護司会も更生保護女性会の会員とともに元気に黄色いスカarfを振りながら笑顔で練り歩きました。日本では黄色が更生保護の色になっていますが、それは1977年に公開された映画「幸福の黄色いハンカチ」にもちなみなので、刑務所から出所した男性の更生につながる物語です。4月17日は東京スカイツリーも黄色にライトアップされました。この日を境に保護司を始め更生保護ボランティアの活動に関する周知と理解が得られることを期待しています。

府中警察だより

生活安全課少年第一係長

中村 研人



皆様は、面接時に対象者（少年）から「補導された」という話を聞いたことはありませんか？補導についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。

警察の業務ですから、取締りとして認識されている方も多いかもしれませんが、少年法、東京都青少年の健全な育成に関する条例等の規定に基づき、少年の非行防止のために行われる活動であり、罰則が科せられるものではありません。

しかしながら、補導の対象となる行為は、飲酒、喫煙、深夜はいかい等、刑罰法令に違反する行為ではないものの、自己または他人の徳性を害する行為ですから当然、補導回数が増えれば、戦法精神の欠如、非行深度の進行、家庭環境の悪化等が増えます。

対象者を再非行に走らせないためにも、話題提供があった際には、先生方からも指導して頂きますと幸いです。

府中地区保護司会コラム ②1

関口 直子

埼玉県蕨市から府中本町に越してきて6年目。仕事が埼玉のため、なかなか地域に根づくことができず、悶々としている。せめて、と時間の都合がつく時は、月1回のフードバンクの活動や府中ゼロ円ショップの活動に顔を出し、府中縁を少しずつ広げてはいる。

私は平日、埼玉県の自治体から委託を受けた一般社団法人で、ひとり親や生活困窮の子ども達の学習支援の仕事をしています。無料塾の運営のほか、世帯への家庭訪問も行い、親子に寄り添って話を聞き、必要な支援に繋げるのが業務である。お節介な私にはぴったりの仕事だが、塾も訪問も夜間のため帰宅が遅くなるのが難。夫と一緒にの食事は週末のみで、週の半分は事務所か駅のホームでおむすび権兵衛のおむすび1個の夕飯である。

いずれ府中を活動の拠点にと夢想している。いいお話があればぜひお声掛けを！

「紫翠苑」評議員として

高野 佳子

「紫翠苑」は、更生保護施設として1969年に多摩地区保護司の総意をもって設立され、2015年10月、八王子市緑町において更生保護法人として新規登録されました。刑務所から出所した人や社会的に孤立した人に対し、自立更生に必要な保護を行い、改善更生を図ることを目的とした女性の施設です。また、2022年の全面改築後は地域住民に利用しやすい集会所の整備、地域防災拠点の役割も兼ねています。

更生保護法人「紫翠苑」においては理事・監事・評議員を置き、多摩地区の保護司会等から選出され、府中地区保護司会では評議員（高野佳子・小澤秀敏）の一員として、年二回開催される評議員会に出席し、この法人の業務もしくは財産の状況報告をうけております。先人たちの思いを引き継ぎ、府中地区保護司会においても賛助会員として携わっております。



退任挨拶

令和7年5月14日付

室 惇子

毎朝5時半起床、日経新聞の「私の履歴書」を読み手帳でその日の予定を確認、一日がスタートです。保護司会の予定がなくなり二か月あまり、ゆったりになるかなと思っていましたがそれでもなくその分他のことが入り慌しく過ぎました。

大先輩森岡玲子様よりお声をかけていただき保護司の活動が始まりました。「民生委員も人権擁護委員も、保護司も根底は愛よ。そこを大切に活動してね。」その言葉を心に留めての15年間でした。思いもよらない地域の方々との出会い、多摩連研修会での素晴らしい講師の先生方のお言葉、ネットワークの拡がりや知識の積み重ね、多くのことを学ばせていただきました。皆様方と一緒に過ごしましたこと心より感謝でございます。そして皆様のますますのご活躍をお祈りしております。

退任保護司

令和7年3月31日付

長い間、ありがとうございました。

吉田 京子

活動日誌抄

4月

・国際更生保護ボランティアの日

記念式典 パレード

5月

・多摩連 監査

・新旧常任理事会 懇親会

・更生保護協会 評議員会

・府中地区更生保護女性会定期総会

・府中市社会福祉協議会理事会

6月

・保護司会会計事務担当者

運営連絡協議会

・東保連代表者協議会 情報交換会

・多摩連代表者協議会 理事会

・東保連 第3委員会

・東京都薬物乱用防止指導員研修会

・当番地区第7ブロック説明会

・府中市社会福祉協議会理事会

・保護司候補者検討協議会

・府中地区桐友会総会

・府中市要保護児童対策地域協議会

・更生保護女性会 道徳授業参観

・第7ブロック説明会

7月

・福祉まつり説明会

・多摩連各部会

(総務・地活・研修・広報)

編集後記

保護司は「誰一人取り残さない」との理念の下、犯罪や非行をした人の立ち直りを支え、犯罪や非行防止、安全安心な街づくりの為に活動をしています。日本では、130年もの長きにわたり一般市民より発展し制度化されてきた、世界に誇れる保護司制度でありながら、認知度は極めて低いのが現状です。嬉しいことに、本年は、ご寄稿頂いた中にもありましたように、社会的認知度を高める取組みがありました。①「国際更生保護ボランティアの日」記念式典・パレードの開催②「広報ふちゅう」に、更生保護特集記事掲載。更生保護の認知度が高まれば、更なる犯罪予防への効果が期待できます。

広報部一同、その役割の一端を担うべく、斬新な発想で取り組んで参ります。57号にご寄稿下さいました皆様に心より感謝申し上げます。

隆 ミワ子

広報部

部長	奈良崎芳恵	前田久美子
副部長	田中 節子	石塚百合子
書記	住崎 岩衛	柊 昌一
会計	隆 ミワ子	市橋 正造
部員	市毛 彰	内藤 祐治
	藤井 幸夫	

題字は高野市長の揮毫によるものです
表紙の写真・提供 府中市